

No.185	令和8年度 ゲノム創薬基盤利活用推進研究事業【若手枠あり】	
機関名	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	
募集締切 (公募機関)	2026年3月2日(月) 【正午】 厳守	
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2026年2月24日(火)
応募方法	e-R a dによる提出 ※e－R a dへの応募情報の提出は各申請者が行ってください。	
所属研究機関の承認(e-Rad)	必要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	不要	
概 要	<p>●事業概要 全ゲノム解析等実行計画に係るデータ及び既存のバイオバンク等の情報基盤の利活用を通じて、わが国における個別化医療の実用化に向けた情報基盤の整備に資する研究を推進します。 全ゲノム解析等実行計画に基づいて集積されている検体や臨床情報と全ゲノム情報、マルチオミックスデータ、画像データ、その他のリアルワールドデータ等の情報、及び既存のバイオバンク等の情報基盤を利活用し、その研究で得られた成果を既存の情報基盤に格納すること等を通して、がん・難病等の創薬等に繋がる情報基盤の整備に資する研究を推進します。 また、既存の情報基盤（バイオバンク、データベース、レジストリ等）を対象に、その円滑かつ適切な利活用を推進する技術を開発することで、がん・難病等の創薬等に繋がる情報基盤の整備に資する研究を推進します。</p> <p>●公募内容 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）では、令和7年度「ゲノム創薬基盤推進研究事業（ゲノム情報研究の医療への実利用を促進する研究）」に係る研究開発課題を以下のとおり公募します。 本公募は「若手枠」及び「一般枠」となります。 詳細については公募要領をご覧ください。</p> <p>D領域：全ゲノム解析等実行計画に係る情報基盤等を利活用し、創薬推進等に資する研究 全ゲノム解析等実行計画に基づいて集積されている検体や臨床情報と全ゲノム情報、マルチオミックスデータ、画像データ、その他のリアルワールドエビデンス等の情報、及び既存のバイオバンク等の情報基盤を利活用し、また、既存の情報基盤の利活用を推進するための技術開発を通じて、創薬等を見据えた出口戦略に基づき、わが国における個別化医療の実用化に向けた情報基盤の整備に資する研究を行います。</p> <p>D-1：個別化医療に向けた国内情報基盤に係るデータ利活用【若手枠】 D-2：個別化医療に向けた国内情報基盤の整備に係る技術開発【一般枠】</p> <p>※【若手枠】（若手研究者が研究開発代表者となる課題）は、研究開発開始年度の4月1日時点において、研究開発代表者が、①年齢が満43歳未満の者、又は②博士号取得後10年未満の者であることとします。</p>	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。

